

## 農林水産分野のキャリアプラン

分 野	農林水産分野
職務内容	<p>●内部管理事務</p> <p>○ 総務・議会、人事・労務、予算・経理（会計）、その他一般総務関係等</p> <p>●各種事業に係る事務</p> <p>○ 組合指導、食品表示・卸売市場関連事務、農地法・農振法・土地改良法関連事務、野生イノシシ対策関連事務、県有林関連事務、その他各種補助事業関係事務等</p>
主な配属先	<p>・農業水産局、農林基盤局、本庁各課</p> <p>・農業水産局、農林基盤局、地方機関</p> <p>・他分野の本庁各課又は地方機関</p>
め ざ す 職 員 像	高い実務能力と協調性を備え、県の農林水産部門を多角的な視点で見渡すことができ、円滑に農林水産行政を運営する能力がある職員
育成の考え方	
<p><b>&lt;主事級（ジョブローテーション期間）&gt;</b></p> <p>【職員としての基礎固め】</p> <p>ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、個の能力を高めていく。</p> <p><b>&lt;主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級&gt;</b></p> <p>【キャリアの軸探し】</p> <p>今後のキャリアの軸を探すために、特定の分野の業務に継続的に取り組み、自らの適性を考えつつ、専門能力を高めていく。</p> <p><b>&lt;主査級・課長補佐級&gt;</b></p> <p>【実務の要＋グループ運営の補佐】</p> <p>実務の要として主体的に企画・立案を行い、事業を推進するとともに、将来の管理的立場を意識して、更なる能力の向上を図り、自らの専門性を見極めを行う。</p> <p>また、グループの中核として、円滑な業務推進や困難な課題の解決に取り組むとともに、これまでのキャリアを踏まえて、将来必要とされる能力を伸ばす。</p> <p><b>&lt;課長補佐級（班長）&gt;</b></p> <p>【グループマネジメント力の発揮】</p> <p>これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。</p>	

## 《農林水産分野のキャリアイメージ》

区 分	農林水産分野		キャリアプラン例①	キャリアプラン例②
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力		
<b>新規採用</b> <div>ジョブローテーション</div>	<b>【職員としての基礎固め】</b> <input type="checkbox"/> 共通口 ・複数の所属の業務に従事する中で、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <div>             &lt;ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方&gt;              県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を経験できるよう計画的に異動を行う。              ① 複数の局を経験する。              ② 可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。              ③ 3ヶ所の所属を経験する。              ※異なる職務分野を経験することを原則とする。           </div> <b>■分野特有■</b> ・他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。	①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク <div> <b>【期待される事務レベル】</b>            ・所属の庶務、支出、物品管理            ・担当事務に係る予算要求            ・担当事務に係る法規則の理解と運用            ・内外の関係者との調整、相談対応         </div>	<div>採用所属（地方機関）</div> <div>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G ・分野内本庁 ・事業</div> <div>農業水産局農政部 農政課 予算 G ・分野内主管課</div>	<div>採用所属（地方機関）</div> <div>福祉局障害福祉課 事業所指導第一 G ・分野外本庁 ・事業</div> <div>農林基盤局農地部 農林総務課 予算 G ・分野内主管課</div>
<b>主事・主任級 （採用8年目から 主査級昇任まで）</b> <div>知識・能力を習得・発揮</div>	<b>【キャリアの軸探し】</b> <input type="checkbox"/> 共通口 ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 <b>■分野特有■</b> ・局内調整を行う所属を経験し、局内の調整方法を身につける。 ・様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政への理解を深める。 ・主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。 ・他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成 <div> <b>【期待される事務レベル】</b>            ・所属の庶務や予算の総括            ・庁内会議や市町村向け説明会の開催            ・担当事務に係る企画・立案            ・幹部相談資料の作成         </div>	<div>農林基盤局農地部 農地計画課 換地・指導 G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験</div> <div>総務局総務部法務文書課 法規 G ・分野外本庁 ・法制執務 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる</div> <div>農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約 G ・分野内主管課 ・事業課の経験を活かす</div> <div>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G ・分野内本庁 ・2回目の所属経験 ・主要業務を担う</div> <div>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G (班長) ・これまでの経験を活かす(事業)</div>	<div>農業水産局農政部 食育消費流通課 市場・食品表示 G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験</div> <div>尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約 G ・分野内地方機関 ・本庁と地方機関をバランスよく経験</div> <div>尾張県民事務所 防災安全課 防災安全 G ・分野外地方機関 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる</div> <div>農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約 G ・分野内主管課 ・現場の経験を活かす</div> <div>尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約 G (班長) ・これまでの経験を活かす(内部管理)</div>
<b>主査級 ・ 課長補佐級</b>	<b>【実務の要+グループ運営の補佐】</b> <input type="checkbox"/> 共通口 ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 <b>■分野特有■</b> ・局内の調整を行う所属で、主要施策の調整を行い、局内調整力に加えて、対外折衝力を身につける。 ・様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政を多角的に見渡すことができる視点と、円滑に運営する能力を身に付ける。 ・主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。	①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力 <div> <b>【期待される事務レベル】</b>            ・局の予算・人事総括、会検対応            ・審議会等の外部有識者会議の開催            ・担当事務について、高度な調整が必要となる案件への対応            ・知事相談・報告資料の作成            ・議会答弁作成         </div>		
<b>課長補佐級 （グループ班長）</b>	<b>【グループマネジメント力の発揮】</b> ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。	①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力		